

8-5 既存ストックを有効活用する交通施策

財政制約が高まる中、既存ストックを有効に活用しつつ、必要な道路網を構築していくことが必要である。

1) 交通混雑する既存交差点の改良推進

住民意見などを踏まえ、付加車線が無いことなどによる混雑発生箇所や危険箇所については、早期の改善を図る。

▼札内橋

左折交通が直進交通を阻害しており、住民利用の改善ニーズは高い。今後は、左折レーンの設置を検討し、交通混雑の改善を図る。

▼音更大通

音更大通については、MP上では、4車線整備の位置づけとするが、現在の混雑状況の早期解消を図るため、交差点改良から重点的に進める。

【H17 帯広圏 PT 個人意識調査のフリーアンサーより】

◆交差点改良

- ・幕別本町までの4車線化。札内橋の帯広方面左折レーンの設置。(30代、女性)

◆音更大通

- ・音更大通は4車線と勘違いしているドライバーが多く他地域から来た人には大変、危険に感じています。(40代、男性)

音更大通 (R241) の早期4車線化が必要だと思います。(30代、女性)

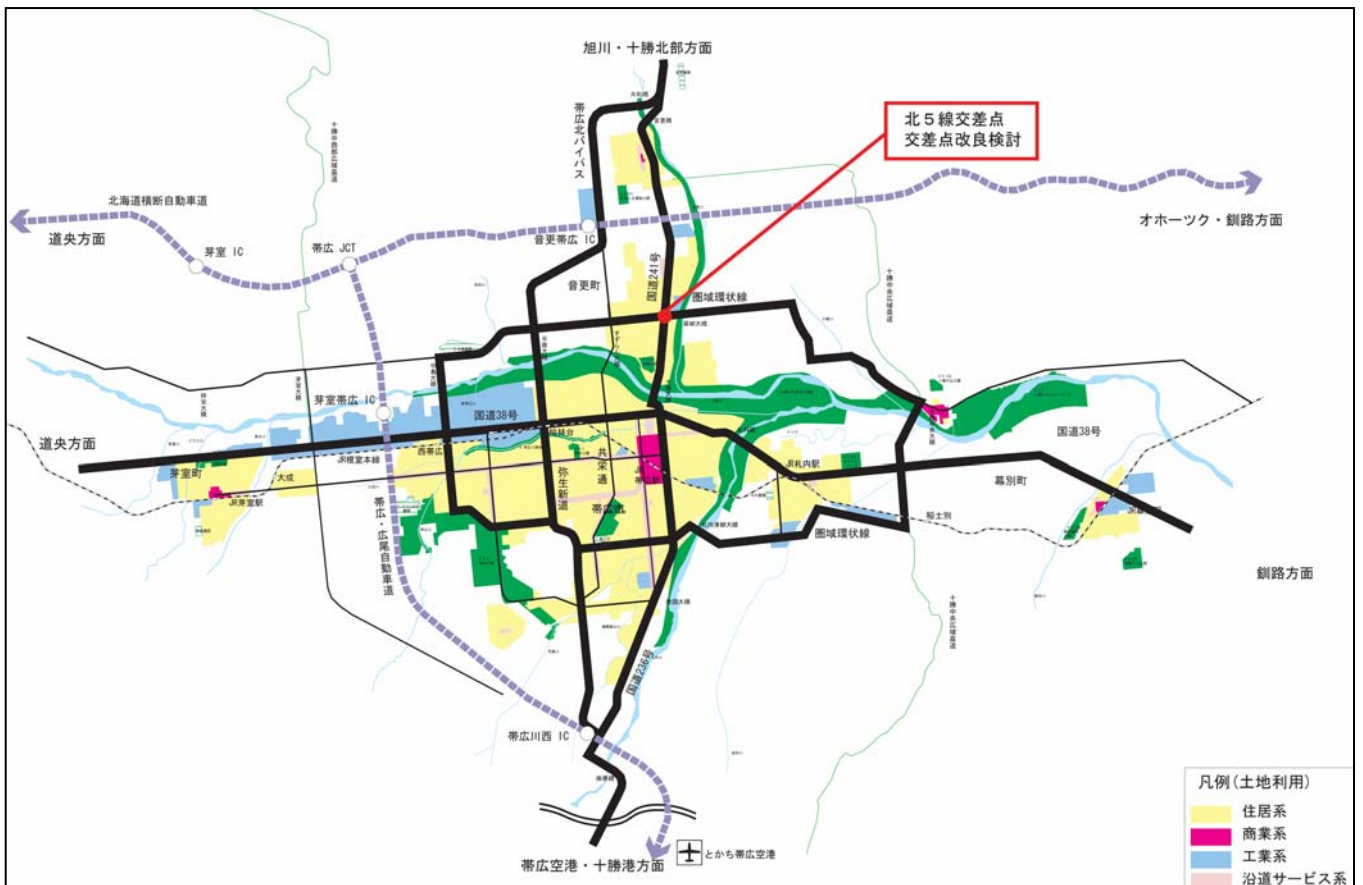


図 8-4-12 交差点改良箇所

2) 幹線道路網構築による機能明確化に合わせた信号連動改善の推進

幹線道路や補助幹線道路などの道路機能の明確化を行い、信号連動の改善を推進する。

【主な回答内容】

◆信号連動

- ・信号のつながりを良くしてほしい。全てで止まることがあります。(30代、女性)
- ・右折、左折の指示が遅いため交差点での渋滞が見られる。(50代、男性)

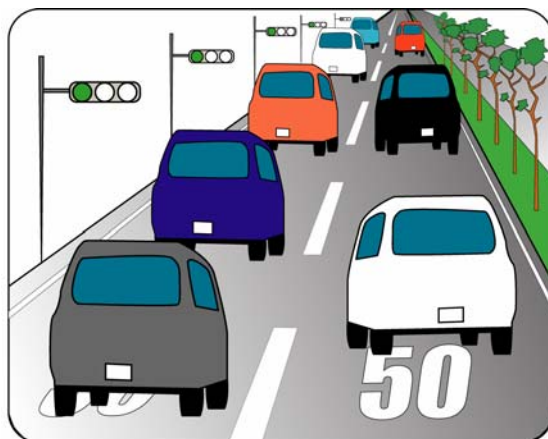


図 8-5-1 信号連動が改善された路線イメージ